

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月4日

評価対象事業		評価者	都市景観課長	奥山 信治
都景-03	実施事業	旧華頂宮邸管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 都市景観課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	都市景観	施策の方針	良好な都市景観形成事業の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	旧華頂宮邸の適正な管理運営を図るため
効果	市民をはじめとする多くの人々が集い、様々な情報を発信していく施設として活用を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・週5日の庭園の一般公開を行うとともに、年4日の建物公開を実施した。 ・建物等の適切な維持管理と、その費用に充てる施設維持協力金の確保を行った。 ・地元住民ボランティアと協力し、庭園及び建物の適切な維持管理に努めた。 ・旧華頂宮邸の暫定利用を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		データ区分	01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	人 口	176,466人	176,308人	176,308人	人 口	176,436人		・各年3月31日(住民基本台帳)
	世 帯 数	81,150世帯	81,763世帯	81,763世帯	世 帯 数	82,444世帯		
	事業の対象者数				事業の対象者数			
	運営資源状況	決算値(千円)	14,369	13,237	13,237	当初予算(千円)	14,894	
		国県支出金				国県支出金		
		地方債				地方債		
その他		1,320	4,120	4,120	その他	4,100		
一般財源		13,049	9,117	9,117	一般財源	10,794		
人員配置数	1.5	1.5	1.5	人員配置数	1.5			
人件費(千円)	11,529	11,581	11,581	人件費(千円)	11,757			
事業経費運営	総事業費(千円)	25,898	24,818	24,818	総事業費(千円)	26,651		
	市民1人当りの経費(円)	147	141	141	市民1人当りの経費(円)	151		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 宅間ボランティアの会

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・平成8年に建物を取得して以来、本格的な改修工事を行っていないため、施設の老朽化が課題となっていることから、今後の本格的な活用に向けて、耐震改修など大規模維持修繕のための経費が必要となると考える。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・毎年多くの来場者を受け入れているが、今後は老朽化が進む施設の維持管理について、耐震改修など大規模維持修繕のための経費が必要となると考える。 ・関連・類似事業はなく、現在でも管理等は委託するなど、効率的に事業を運営しており、事業費を削減できる余地はない。 ・建物及び庭園の公開に対するニーズは常にあり、豊かな市民生活に寄与していることから、今後も市が実施していく必要がある。 ・旧華頂宮邸暫定活用運営会議で策定した「暫定利用の基本ルール」を適切に運用し、地域住民と協働しながら実験活用を行っている。 ・今後も、地域住民の協力を得ながら、歴史的文化的価値の高い洋風建築物としての活用を図る必要がある。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元への情報開示とイベント等の企画側との調整を主たる目的とした「(仮称)旧華頂宮邸暫定利用連絡会」を、保全活用計画の策定時に合わせて設置する必要がある。 ・今後も近代鎌倉の魅力を広く伝えるため、老朽化した建物の維持管理や早期の大規模改修・修繕及び悪天候の影響を受けやすい庭園の整備を行うための財源確保が必要である。 	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・旧華頂宮邸暫定活用運営会議で策定した「暫定利用の基本ルール」を適切に運用するとともに、地域住民と協働しながら、親子景観セミナーや景観ウォークなどの普及啓発活動などで建物を活用した。 ・庭園については、春と秋の建物公開に合わせて、樹木剪定作業などの整備を行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地元への情報開示とイベント等の企画側との調整を主たる目的とした「(仮称)旧華頂宮邸暫定利用連絡会」を、保全活用計画の策定時に合わせて設置する必要がある。 ・今後も近代鎌倉の魅力を広く伝えるため、老朽化した建物の維持管理や耐震改修などの大規模維持修繕を適切な時期に行う必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	入場者	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	近代鎌倉の魅力を広く伝え、施設の維持管理費につながる募金箱への寄附を維持するためには、入場者数を確保する必要があるため。						
	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
	目標値	10,000.0	10,000.0	10,000.0	11,000.0	11,000.0	11,000.0
	実績値	10,492.0	11,053.0	12,572.0	10,131.0	11,533.0	
	達成率	104.9%	110.5%	125.7%	92.1%	104.8%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・週5日(月・火曜日休み)の庭園公開と、年4日(春、秋)の建物公開を実施している。 ・建物公開日は施設規模から入場者数に限度があるが、通年の庭園公開日については広報等により一定の入場者数の確保に努める。合わせて、設置している募金箱への寄附額の現状維持を図る。
-----------------------	--